

経済学研究科

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

城西大学大学院経済学研究科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、高度な専門性の発露を通して地域やグローバル社会の発展を積極的にリードする人物を育成します。経済学研究科で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質・能力を身につけたかという視点で評価し、経済学研究科の学位授与方針に従って修了を認定し、修士（経済学）の学位を授与します。

1. 深く研究することを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズを解析し、人類文化の発展に貢献する能力を有している。
2. 大学院での研究を通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”において、リーダーシップを発揮する能力を有している。
3. 自身の専門に関する深い研究を通じて、現実の経済の動向を分析することができる高度な専門知識と技能に加え、グローバル化した経済や地域社会の諸問題に関する十分な研究遂行能力と問題解決能力をさらに高め、新規の知見を見出す能力を有している。また新しい価値観の創造に関わることで、極めて高い専門性を獲得するだけでなく、それを将来にわたり発展させようとする態度を有している。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

城西大学大学院経済学研究科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき定めたディプロマ・ポリシーに示す学修目標に、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

1. 人類文化の発展に貢献する能力を養うために、自身の専門を含む広い範囲の「特修科目」を設定する。その評価においては、形成的評価を適宜行い、各科目の特性に合わせた様々な評価方法を適用して、可否の判定を伴う総括的評価を実施する。
2. “協創”による社会問題の解決においてリーダーシップを発揮するための科目として、研究活動を主体とする「演習科目」を設定する。その評価においては、学内外の多様な評価者が関わる形で形成的評価を行い、また、各科目の特性に合わせた様々な評価方法を適用して、可否の判定を伴う総括的評価を実施する。
3. 自身の専門に関する学び及び探究を深めるため、研究論文作成を行う。研究計画の策定及び研究実施の過程において形成的評価を適宜行い、可否の判定を伴う総括的評価は、

複数の研究科担当教員が関わる形で、経済学研究科が示す基準に基づき、論文審査及び口頭試問において行う。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

城西大学大学院経済学研究科では、本学の建学の精神である「学問による人間形成」に基づいた教育を実践するため、経済学の高度な専門領域において深い学問的探究をし、それを通じて社会に有為な人材を育成することを目的としています。具体的には以下の記述に該当する人を受け入れます。

1. 経済の現状を意欲的に考え、多様な事象に理解を示し、人々の暮らしにおける課題・ニーズは何かという視点を持って、社会のルールに従って、責任感を持って行動し、自己の理想に向かって活動する意思を有する人
2. 経済学の研究と関連づけ他者との対話を通して自らの学識を高め、他者と“協創”して社会の課題に取り組むうえで、リーダーシップを発揮する意思を有する人
3. 経済学の分野において必要となる基礎的な知識と技能、または社会経験を有しており、それを発展させて、グローバルな視野に立って地域や国際社会に存在する様々な課題に取り組もうと考えている人

（2026 年 4 月入学者用）